

都市建設部

令和4年度 重点目標

- 1 賑わいと交流のまちづくりに向けた道路網の整備・促進
- 2 安全・安心な都市環境の整備と防災・減災の推進
- 3 交通まちづくりの推進と公共交通の維持確保
- 4 快適で持続可能な拠点集約型のまちづくり
- 5 緑豊かな健幸都市空間の創出

令和4年度 重点目標管理シート


重点目標	賑わいと交流のまちづくりに向けた道路網の整備・促進		部局名	都市建設部	優先順位	1位	
総合計画における位置付け	第2編 自然・生活環境 安心・安全な快適環境のまちづくり 第2章 良好、快適な生活環境の形成 第1節 賑わいと交流のまちづくりに向けた道路網の整備・促進		上田再構築プラン Ver.2.0「もっと、前へ」における位置付け	5 DXやGX等の革新的技術でSDGsを推進、人と自然が調和した活力あるまちをつくる			
第四次上田市行財政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け	(1) 将来を見据えた新たな行政サービスへの改革 ウ 市民への説明責任を果たす的確かつ積極的な情報発信 エ 広域連携の推進						
現況・課題	・市内外の交流を円滑に進めるための道路網は、住民生活や経済社会活動を支える最も基本的な社会資本です。幹線道路網の交通混雑の緩和を図り、救急・防災機能を高めるため、また、観光を含めた産業振興やまちづくりの面からも、強固な交通体系の整備が急務となっています。このため、国道18号上田バイパス第二期工区を含めた都市環状道路とそれを補完する市道及び上田駅へのアクセス道路等の整備を促進する必要があります。						
目的・効果	・上田地域定住自立圏構想及び上田地域30分（サンマル）交通圏確立のための道路整備路線を柱に、幹線道路網の整備を促進することにより、渋滞緩和や安全確保が図れます。また、災害時の緊急輸送道路や生活道路としての活用が図れます。 ・主要地方道長野上田線を通じた千曲川左岸地域からの中心市街地へのアクセスの向上と、沿線の歩行者等の安全の確保と交通渋滞の緩和を図ります。		該当するSDGsの目標				
取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限（いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告（目標に対する進捗状況・進捗度）及び（中間報告の時点で取組項目に対する方法・手段の見直しを行った点）		期末報告（目標に対する達成状況・達成度）		
① ○ 上田定住自立圏構想等に位置付けられた広域幹線道路（長野県実施事業）の整備促進 (1) 主要地方道長野上田線（北天神町古吉町線） (2) 国道144号上野バイパス (3) 主要地方道小諸上田線（町吉田～中吉田） (4) 上信自動車道、上田諏訪連絡道路 (5) 国道143号青木峠バイパス（トンネル化） (6) 主要地方道別所丸子線鈴子バイパス (7) （仮称）上田丸子トンネル	(1) 4月～3月 (2) 4月～3月 (3) 4月～3月 (4) 4月～3月 (5) 4月～3月 (6) 4月～3月 (7) 4月～3月	県と協力し事業の進捗を図る。 (1) 事業進捗、赤坂交差点先線の計画検討 (2) II期工区の事業進捗 III期工区の計画検討と地元定着 (3) 東御市境付近の計画検討と地元定着 (4) [上信]早期事業化 [上田諏訪]高規格道路への着実な取組。要望活動等の実施 (5) 事業進捗 (6) 計画検討と地元定着 (7) 上田地域広域計画の見直しの検討	(1) ・御所工区は工事実施中 ・赤坂交差点先線は地元関係者説明会済 (2) ・II期分は工事実施中 ・III期ルートは対策委員会に説明済 住民説明を予定 (3) ・中吉田・東御市東深井地区に説明済 ・町吉田地区と協議を実施中 (4) ・[上信]8月期成同盟会総会（書面決議）開催済 ・[上田諏訪]6月期成同盟会総会開催済 (5) ・非常用設備・坑口部詳細設計実施中 環境調査継続 (6) ・対策委員会とルート協議を実施中 (7) ・上田地域広域計画の見直し検討中		(1) ・御所工区は工事実施中 ・赤坂交差点先線は地元関係者了済(W=16m) (2) ・II期分は工事実施中 ・III期ルートは対策委員会、地元住民に説明し協議中 (3) ・中吉田・東御市東深井、町吉田地区に説明し概ね了済 ・用地交渉を進める予定 (4) ・[上信]12月に中央要望、翌2月に県要望を実施（対面） ・[上田諏訪]11月に中央要望、12月に県要望を実施（対面） (5) ・非常用設備・環境調査・坑口部詳細設計・用地交渉継続 (6) ・対策委員会とルート協議実施 ・1回目の住民説明会を開催済み (7) ・上田地域広域計画に搭載（2/22上田地域広域連合総会）		
② ○ 上田地域30分（サンマル）交通圏構想実現に向けた幹線市道の整備推進 (1) 市道踏入大屋線 (2) 市道上田橋下堀線	(1) 4月～3月 (2) 4月～3月	(1) 工事L=85m(進捗率 360/850m 42%) 橋梁上部工(R4～R6) L=103.6m W=12.8mを発注 (2) 工事(進捗率0/350m 0%) 擁壁工 L=24m(L=130m 完成) 側溝工 L=50m(50/307m 16%)	(1) ・道路改良工事は発注済 ・橋梁上部工は発注済 (2) ・道路改良工事は設計中		(1) ・道路改良工事は工事実施中 ・橋梁上部工は工事実施中 (2) ・道路改良工事は施工準備中		
③ ○ 上田バイパス第二期工区の整備促進 (1) 用地買収・工事（橋梁等）	(1) 4月～3月	(1) 国土交通省長野国道事務所事業中であり、事業進捗に、連携して協力します。	(1) ・整備促進を図るため、同バイパス対策委員会・連絡協議会を8月に開催 ・バイパス関連工事(市道黒坪長島線跨道橋上部工)の着手に向け5月に上沖地区対策委員会への工事説明会を開催し、工事着手済 ・国の用地交渉2件に同行し、交渉に協力		(1) ・バイパス関連工事(神川橋上部2工事(右岸側))の着手に向け2月に上沖地区対策委員会への工事説明会を開催し、工事着手済 ・上田市内の事業区間用地(面積ベース)80%取得済		
④ ○ 産業振興や住みやすい環境づくりに寄与する道路整備の推進 (1) 市道下吉田久保林線(国道18号上田BP関連) (2) 市道中野小泉線バイパス(小泉2号線) (3) 富士山運動公園線ほか	(1) 4月～3月 (2) 4月～3月 (3) 4月～3月	(1) 工事L=100m(水路改修) (進捗率 120/450m 27%) 用地4件(進捗率 7/7件 100%) 補償1件(進捗率 8/8件 100%) (2) 工事L=200m バイパス区間(車道)開通 (進捗率1,200/1,400m85%) (3) 舗装工事L=700m	(1) ・工事(水路改修)は用水管理者と協議中 ・歩道未改良区間の一部について工事発注済 ・用地は1件契約済、2件交渉中 ・補償は信号機移転について警察と調整予定 (2) ・工事L=200m契約済、施工中 (3) ・舗装工事L=700m契約済、施工中		(1) ・水路改修は用水管理者と協議し工事発注済(R5年度に繰越) ・歩道未改良区間の一部について工事完了 ・事業用地は全て契約済 ・信号機移転は工事箇所の変更によりR5年度に警察と調整 (2) ・工事L=200m施工中、R5年度に繰越 (3) ・舗装工事L=700m完了		
特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点		○取組による効果・残された課題				

令和4年度 重点目標管理シート

重点目標	安全・安心な都市環境の整備と防災・減災の推進		部局名	都市建設部	優先順位	2位
総合計画における位置付け	第2編 自然・生活環境 安心・安全な快適環境のまちづくり 第2章 良好、快適な生活環境の形成 第1節 賑わいと交流のまちづくりに向けた道路網の整備・促進		上田再構築プラン Ver.2.0「もっと、前へ」における位置付け	5 DXやGX等の革新的技術でSDGsを推進、人と自然が調和した活力あるまちをつくる		
第四次上田市行財政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け	(1) 将来を見据えた新たな行政サービスへの改革 ウ 市民への説明責任を果たす的確かつ積極的な情報発信 エ 広域連携の推進					
現況・課題	<ul style="list-style-type: none"> 市道は、老朽化が進み、更新・修繕が必要とする橋梁および舗装が増加の一途を辿っており、この対策が急務です。 平成22年8月の矢出沢川流域の豪雨災害に対し、県が平成23年3月に策定した上小圏域河川整備計画(矢出沢川)を基本に河川改修工事を進めており、早期完成を図る必要があります。また、市街地中心部での豪雨災害が頻発しており、雨水流入の抑制を含めた総合的な治水対策に取り組む必要があります。 地震による建築物やブロック塀等の倒壊の被害や大気中に飛散する可能性があるアスベストから、市民の生命、身体又は財産を保護するとともに、その生活環境の保全を図るため、既存建築物の耐震化、危険なブロック塀等の除去、アスベストによる健康被害を防止し、災害に強い安心して住めるまちづくりを進めていく必要があります。 少子高齢化等の影響により、上田市内にも適正に管理されていない空家等が多数存在していることから、この対策や活用策等が求められています。 					
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 橋梁の更新時期を出来るだけ平準化する方法として、計画的かつ適切な維持修繕により橋梁の長寿命化を図ると共に、老朽化した舗装・トンネルの修繕工事を行います。また、令和元年度から2巡目の橋梁の定期点検を行っています。 上田市街地の豪雨災害を抑制し、地域住民の安全・安心な暮らしを守ります。 昭和56年5月31日以前の建築物で、大地震により倒壊のおそれのある既存建築物の耐震化(建替え)を図られ、また、危険なブロック塀等を除去することにより、大地震発生時の建物等の被害軽減が図られます。 吹付けアスベストの大気中への飛散防止をすることにより、アスベストによる市民の健康被害の防止と安全な生活環境を確保することができ、また、吹付けアスベスト等が適切に処理されることにより、大地震発生時の二次被害を防ぐことができます。 空家の発生抑制、適正な管理の推進、利活用の促進、管理不全な空家の解消(解体)等を行うことにより、周辺住民の安全安心な暮らしの確保と住環境の改善を図ります。 		該当するSDGsの目標			
取組項目及び方法・手段(何をどのように)		期間・期限(いつ・いつまでに)	数値目標(どの水準まで)	中間報告(目標に対する進捗状況・進捗度)及び(中間報告の時点で取組項目に対する方法・手段の見直しを行った点)		期末報告(目標に対する達成状況・達成度)
① 〇 老朽化した道路構造物の長寿命化の推進 (1) 橋梁及びトンネル長寿命化の推進		(1) 4月～3月	(1) 【橋梁修繕】Ⅲ判定 進捗率 18/77(23%) 工事 7箇所 (石坪橋、神里橋、西八幡橋、角間2号橋、一ツ石橋、土坂橋、七久里橋) 実施設計 11箇所 【トンネル修繕】進捗率2/2(100%) 工事 1箇所(国分トンネル) 【橋梁点検】 橋梁定期点検(196橋)実施	(1) 【橋梁修繕】 ・工事1箇所(七久里橋)は完了 ・工事2箇所(角間2号橋、一ツ石橋)は入札不調で再入札準備中 ・工事4箇所(石坪橋、神里橋、西八幡橋、土坂橋)は設計中 ・実施設計11箇所は契約済 【トンネル修繕】 ・工事 1箇所(国分トンネル)は工事中 【橋梁点検】 ・橋梁点検(自主点検)196橋は、点検準備中		(1) 【橋梁修繕】 ・工事1箇所(七久里橋)は完了 ・工事2箇所(角間2号橋、一ツ石橋)は契約済 ・工事4箇所(石坪橋、土坂橋)は契約済、(神里橋、西八幡橋)はR5実施へ先送り ・実施設計11箇所は契約済 【トンネル修繕】 ・工事 1箇所(国分トンネル)は工事中 【橋梁点検】 ・橋梁点検(自主点検)196橋は点検済
② 〇 上田市街地ほかの防災・減災対策 (1) 神科台排水路整備 (2) 城下地区排水対策事業 (3) [県]矢出沢川整備事業 (4) [国]千曲川国分地区築堤整備事業 (5) [県]河川監視カメラの整備		(1) 4月～3月 (2) 4月～3月 (3) 4月～3月 (4) 4月～3月 (5) 4月～3月	(1) 工事 L=44m 事業完了 (2) 金窓寺川調整池 事業完了 御所沢調整池 地形測量・予備設計実施 (3) 上田建設事務所と連携し早期完成に向け協力します。 (4) 千曲川河川事務所と連携し、早期完成に向け協力します。 (5) 上田建設事務所と連携し画像情報等を住民に公開します。 (カメラ設置数 7→11)	(1) ・排水路整備工事は設計中 (2) ・金窓寺川調整池契約済、施工中 ・御所沢調整池 測量・予備設計発注準備中 (3) ・川原田橋～高橋間工事実施中 上流部治水計画検討予定 (4) ・国分地区築盛整備は早期完成に向け千曲川河川事務所に要望を実施 (5) ・カメラの設置は完了し、情報提供の手続き中		(1) ・排水路整備工事は施工準備中 (2) ・金窓寺川調整池完了 ・御所沢調整池 測量・予備設計完了 (3) ・川原田橋～高橋間工事実施中 上流部治水計画検討中 (4) ・国分地区築盛整備は早期完成に向け千曲川河川事務所に要望を実施 (5) ・カメラの設置は完了し、情報提供開始済

	取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限 （いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告 （目標に対する進捗状況・進捗度）及び （中間報告の時点で取組項目に対する方法・手段の見直しを行った点）	期末報告（目標に対する達成状況・達成度）
③	○ 危険空家解消に向けた各種施策の実践と強化 (1) 老朽危険空家の解体促進と跡地利活用 (2) Cランク（老朽化が著しい）空家の解消 (3) 相続財産管理人制度の活用 (4) 空家所有者が抱える課題・疑問等の解消	(1) 4月～3月 (2) 4月～3月 (3) 4月～3月 (4) 4月～3月	(1) 老朽危険空家の解体…年18件 空家解体跡地の利活用…年2件 (2) Cランク空家の解体促進…10件減 (3) 相続財産管理人選任申立…2件以上 (4) 空家相談会の開催…年4回	(1) 補助金申請30件のうち、要件に該当した空家16件、交付決定済13件。利活用は、次年度1件活用希望あり。 (2) Cランク空家の解体促進…4件解体済 (3) 相続財産管理人選任申立…3件申立済 (4) 空家相談会の開催…2回（6月、9月）開催済。残り2回（12月と3月）開催予定	(1) 老朽危険空家解体補助金・・・21棟 空家解体跡地利活用補助金・・・0棟 (2) Cランク空家の解体促進…4件解体済 (3) 相続財産管理人選任申立て…3件申立済 (4) 空家相談会（出張相談会）の開催…年4回開催済
④	○ 安全・安心な公共建築物の整備 (1) 建築物の整備では、安全性が高く過不足のない適切な品質の確保を目指す。 (2) 公共施設マネジメント基本方針に留意して行う	(1) 4月～3月 (2) 4月～3月	(1) 第五中学校改築事業校舎棟実施設計を完成…100% (2) 第二学校給食センター改築事業工事を進捗…90% (3) 上田市新本庁舎建設2期工事（解体、地下改修） 9月末までに工事を完成…100% (4) 同上 外構工事を発注し完成…100% (5) 特定天井の耐震化事業 創造館 改修工事の実実施設計を完成…100%	(1) 実施設計中 令和5年3月完了予定 (2) 令和4年3月着工 令和5年4月完了予定 (3) 令和4年9月完了 (4) 令和4年8月着工 令和5年3月完了予定 (5) 実施設計中 令和5年1月完了予定	(1) 実施設計 令和5年3月完了 (2) コロナ渦、職人不足等の影響による工事の遅延が生じ、令和5年3月現在約40%進捗。令和5年11月工事完了予定。 (3) 令和4年9月完了 (4) 令和5年3月完了 (5) 実施設計 令和5年1月完了
⑤	○ 地震対策 (1) 民間建物の耐震化 (2) 危険なブロック塀等の除去	(1) 4月～3月 (2) 4月～3月	(1) 耐震診断(木造住宅) … 40戸 耐震改修等工事 … 12戸 (2) ブロック塀等の除去 … 20箇所	(1) 耐震診断(木造住宅) … 37戸 耐震改修等工事 … 6戸 (2) ブロック塀等の除去 … 7箇所	(1) 耐震診断(木造住宅) … 40戸 耐震改修等工事 … 9戸 (2) ブロック塀等の除去 … 9箇所
⑥	○ アスベスト飛散防止対策 (1) 民間建築物の分析調査	(1) 4月～3月	(1) 分析調査 … 3箇所	(1) 分析調査 … 0箇所	(1) 分析調査 … 2箇所
特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点			○取組による効果・残された課題	





令和4年度 重点目標管理シート

重点目標	交通まちづくりの推進と公共交通の維持確保		部局名	都市建設部	優先順位	3位
総合計画における位置付け	第2編 自然・生活環境【安全・安心な快適環境のまちづくり】 第2章 良好、快適な生活環境の形成 第2節 「乗って残す」「乗って生かす」を基本とした公共交通の活性化		上田再構築プラン Ver.2.0「もっと、前へ」における位置付け	○緊急 新型コロナ対策と即効性のある社会経済対策 3 福祉を充実し、多様性を尊重した地域共生社会を実現する 5 DXやGX等の革新的技術でSDGsを推進、人と自然が調和した活力あるまちをつくる		
第四次上田市行財政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け	—					
現況・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・モーターリゼーション及び人口減少の進行に伴い、公共交通機関の利用者は減少傾向にあり、また、交通産業における運転手不足と高齢化、更には、新型コロナの影響により、公共交通の維持・確保が極めて困難な状況である。 ・別所線は、令和元年東日本台風（19号）災害からの復旧を遂げたが、輸送人員が激減している。 ・運賃低減バス事業は、平成25年10月から6年間の実証運行を経て、令和元年10月以降も運行継続を図っている。 ・急速な高齢化、高齢ドライバーによる交通事故が多発し社会問題となっている中、運転免許証の自主返納者数が増加しており、地域での支え合いを含めて、高齢者の移動手段の確保が大きな課題となっている。 ・別所線を含む塩田平地域の日本遺産認定を契機とした観光振興、また、上田市スマートシティ化推進計画に基づくICTの推進を図っていく必要がある。 					
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・別所線の復興による、市民や観光客の移動手段の確保、ゼロカーボンの推進、文化的価値の維持の効果 ・運賃低減バス施策の推進による、モビリティマネジメントの推進、高齢者の外出支援による健康増進、交通渋滞解消、通学費の軽減等の効果 		該当するSDGsの目標			
取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限（いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告（目標に対する進捗状況・進捗度）及び（中間報告の時点で取組項目に対する方法・手段の見直しを行った点）	期末報告（目標に対する達成状況・達成度）		
① ● 上田市地域公共交通計画の策定 ・ 上田市公共交通活性化協議会や5つの地域協議会での議論、長野県計画との整合、交通アドバイザーの活用	06月：計画案作成 07月：住民説明会 09月：パブコメ 12月：議会報告	12月末：計画を策定・公表 03月末：報告資料等のまとめ	● 上田市地域公共交通計画の策定 4月：基礎調査、アンケート調査の整理・分析 5月：上田市公共交通活性化協議会（アンケート概要） 9月：計画策定WS（有識者、交通事業者、市関係課） 9月：5つの地域協議会（現状・課題説明、意見聴取） ○長野県地域公共交通計画との整合 ・ 県協議会・上田地域部会（5/25、9/20） ○県モビリティ・アドバイザー派遣事業（7/29）	● 上田市地域公共交通計画の策定 11月：計画策定WS（有識者、交通事業者、市関係課） 3月：北陸信越運輸局主催（市協力）計画作成セミナーの開催 3月：交通まちづくりシンポジウムにおける議論 3月：環境建設委員会において計画作成の繰越を報告 ○長野県地域公共交通計画との整合 ・ 県協議会（10/20、3/24）、地域連携ICカード説明会（12/26） ○県モビリティ・アドバイザー派遣事業（11/1、1/6、3/30）		
② ● 公共交通の確保維持に向けた新型コロナ経済対策、安全対策事業と利用促進事業の推進 (1) 別所線の安全対策事業と利用促進事業の推進 ・ R3からの繰越事業の完了、R4事業の着実な推進、R5以降の橋脚補強計画の検討 ・ 日本遺産、シェアサイクルとの連携事業の推進、活性化イベントの実施 ・ しなの鉄道の安全対策事業の推進 (2) 運賃低減バス運行事業の継続・利用促進と路線バス・循環バス等の再編検討 ・ 上田地域公共交通連携会議、交通事業者プラットフォーム、交通アドバイザーの活用 (3) 高齢者・障がい者・妊産婦などの移動弱者に対応したタクシー事業の再編 ・ 運転免許証自主返納促進事業の見直し ・ 定額制タクシーなどの調査研究	(1) 年度末：安全対策事業完了、活性化イベントの完了 (2) 年度末：再編案のまとめ (3) 年度末：再編検討	(1) 年度末：安全対策事業進捗100% ○別所線輸送人員103.9万人の確保 30年度：129.9万人 01年度：111.6万人 02年度：63.8万人 03年度：87.9万人 (2) 運賃低減バス事業92.0万人の確保 実証前：99.5万人（24.10-25.9） 30年度：118.8万人 01年度：114.4万人 02年度：75.3万人 03年度：84.5万人 (3) タクシー利用券交付者数400人 ○タクシー券交付決定者/タクシー会社補助額 30年度：330人/1,039千円 01年度：452人/1,284千円 02年度：376人/1,083千円 03年度：393人/1,329千円	(1) 別所線安全対策事業と利用促進事業の推進 ○輸送人員：R4上半期 49.3万人 ・ 03年度繰越事業の完了（8/26） ・ 05/27 別所線活性化協議会（R4国補助計画） ・ 04/01～ 多言語案内システム稼働 ・ 04/23 TSB特番「小松美羽 復興の祈り」放送 (2) 運賃低減バス運行事業の継続 ○輸送人員：R4上半期 37.0万人 ・ 05/25 上田市公共交通活性化協議会（運賃低減バスの運行継続協議） ・ 07/22～08/23 キッズバス事業（TicketQR）の実施 ・ 08/01 交通事業者と市長との懇談会開催 (3) タクシー事業の再編 ○タクシー券交付決定者数：R4上半期 185人 ・ 04月～ 補助券の利用見直し（枚数、手続き） ・ TicketQR事業を踏まえた補助券の見直し検討 ・ 9月補正：新型コロナ経済対策（原油価格高騰）	(1) 別所線安全対策事業と利用促進事業の推進 ○輸送人員：97.2万人 ・ 04年度安全対策事業の実施 ・ シェアサイクル事業との連携 ・ イベント開催に伴うTicketQR利用による無料day実施 ・ R5以降の橋脚補強計画の協議 (2) 運賃低減バス運行事業の利用促進と路線バス等の再編検討 ○輸送人員：90.2万人 ・ 地域公共交通計画策定を踏まえ、事業者を交えた路線、ダイヤ等の再編検討 ・ 利用促進イベントの開催に向けた協議 ・ 共同経営、ゾーン制運賃の調査研究 (3) タクシー事業の再編 ○タクシー券交付決定者数：392人 ○タクシー会社補助金額：2,101千円 ・ タクシー補助券を含めたTicketQRを活用した移動支援策の検討 ・ 原油価格高騰に対応した新型コロナ経済対策		
③ ● ICT活用によるスマートシティ化の推進とEV車両などゼロカーボンシティの推進に向けた調査研究 (1) QRコード決済実証事業の推進 ・ タクシー車両への事業拡大 ・ 路線バス・別所線の利用率拡大・普及啓発 ・ シェアサイクル事業との連携 (2) AIオペレーション機能を有するデマンド交通の導入やEV車両などの導入に向けた調査研究 ・ グリーンスローモビリティ、電動シェアサイクル、電動キックボード等	06月：補正予算 07月：タクシー機器設置 10月：タクシー運用テスト 03月：社会実装 年度末：調査研究まとめ	(1) 年度末：社会実装への移行 QR利用率：15%程度 (2) 年度末：調査研究まとめ	(1) QRコード決済実証事業の推進 QR利用率：4月～9月（上半期）平均 13.11% ・ 6月補正（デジタル田園都市国家構想推進交付金） ・ タクシー事業者WG会議（QR導入協議） ・ 「帰ってきたTicketQR」利用者説明会で公共交通PR ・ シェアサイクル事業との連携協議 (2) AIデマンド交通、EV車両などの検討 ・ AIデマンド、EV自動運転等の調査研究・関係者協議	(1) QRコード決済実証事業の推進 QR利用率：年平均 13.22% ・ タクシー車両へのQR導入協議、テスト、実証事業開始 ・ 利便性向上のための事業スキーム構築の検討 ・ 「2月だよ！TicketQR」利用者説明会で公共交通PR ・ シェアサイクル事業との連携協議、他自治体との連携強化 (2) AIデマンド交通、EV車両などの検討 ・ EV自動運転等の調査研究・関係者協議		
特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点		○取組による効果・残された課題			

令和4年度 重点目標管理シート

重点目標	快適で持続可能な拠点集約型のまちづくり		部局名	都市建設部	優先順位	4位
総合計画における位置付け	第2編 自然・生活環境 【安全・安心な快適環境のまちづくり】 第2章 良好、快適な生活環境の形成 第3節 安全・安心に暮らせる環境の整備		上田再構築プラン Ver.2.0「もっと、前へ」における位置付け	4 日本を代表する循環型社会をつくる ●温室効果ガスの排出削減と再生可能エネルギー活用を一層推進し、施設周辺のモデルを起点にゼロカーボンシティ上田をめざす ●地域経済を循環させ、民間協働で中心市街地の活性化		
第四次上田市行財政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け	(1) 将来を見据えた新たな行政サービスへの改革 ア ICTの活用による行政サービスの向上と業務の効率化 ウ 市民への説明責任を果たす的確かつ積極的な情報発信					
現況・課題	<ul style="list-style-type: none"> 現在の以上市都市計画マスタープランは基準年次を平成22年、目標年次を令和12年に設定し、平成27年に策定しましたが、社会情勢の変化や関連計画及び制度の新設や変更などを踏まえて見直しをする必要があり、人口減少時代の適切な都市基盤整備と土地利用施策の具体的な実施が求められています。 現在の以上市立地適正化計画は基準年次を平成27年、目標年次を令和17年に設定し、平成31年に策定しましたが、概ね5年ごとの進捗確認と都市計画マスタープランに合わせた見直しが必要であるとともに、都市再生特別措置法の改正により防災指針を示すことが求められています。 これまで実施していた「まちなかレンタサイクル」は対人による貸付事務等の課題と、必ず貸出場所に戻るため利用形態に限られていたことから、継続的な運営の確立と利用者の利便性を高める対策を検討する必要があります。 上田城大手門に通じる新参町線は、観光客のメインルートであるほか市役所前のシンボルロードであることから、城下町らしい風格あるまちなみを創出する必要があります。 					
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 以上市都市計画マスタープランと立地適正化計画を改定し、将来に向けた具体的な対策の立案と実施により、都市機能の質的な充実、安全で安心な都市の形成及び自然環境の保全などを重視する拠点集約型のまちづくりを目指します。 レンタサイクルに代わるシェアサイクルの社会実験により、回遊性の向上や新たな移動形態を検証し、本格導入の可能性を検討します。 新参町線の無電柱化と美装化により、防災性・安全性・快適性及び城下町の景観形成の向上を図ります。 		該当するSDGsの目標			
取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限（いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告（目標に対する進捗状況・進捗度）及び（中間報告の時点で取組項目に対する方法・手段の見直しを行った点）		期末報告（目標に対する達成状況・達成度）	
① まちづくり方針の検討・策定（R4年度～R5年度） (1) 以上市都市計画マスタープランの改定 (2) 以上市立地適正化計画の改定	(1) 4月～3月 (2) 4月～3月	(1) 以上市都市計画マスタープラン及び、立地適正化計画の改定検討を進め、都市計画審議会で中間報告を行う。	(1) まちづくりアンケート2,000通の実施。 都市計画マスタープラン及び立地適正化計画の計画骨子の検討。		(1) 以上市都市計画マスタープラン及び以上市立地適正化計画の内容について計画の骨子と構成を固め、庁内関係課との検討・調整を進め、3月に都市計画審議会で中間報告を実施。	
② 回遊性の向上や長野県ゼロカーボン戦略の実現に向け、新たなモビリティのあり方や官民連携による事業化の検証 (1) 以上市・千曲市広域シェアサイクル社会実験の継続	(1) 4月～3月	(1) 以上市・千曲市広域シェアサイクルの社会実験継続。 サイクルポート増設 5箇所→11箇所 電動アシスト自転車導入 45台 本格導入の実現性と課題の検証	(1) 7月1日より社会実験開始。7月～9月の利用回数2,284回（目標値2,000回/半年を達成。昨年実績1,114回/半年） サイクルポートの利用状況の把握と利用促進に向けた改善策（ポート位置変更とPR活動）の検討。		(1) 7月1日～12月18日までの利用回数は4,754回とR3年度比4.3倍の増加となった。利用者満足度も上がり、まちなかや観光地の回遊性向上と滞留時間拡大、消費行動活性化にも効果があったことが確認できた。 R4年度の利用形態を検証し、R5年度の事業展開を検討。	
③ 防災性及び快適性の向上 (1) 新参町線無電柱化事業の推進 (2) 県事業の北天神町古吉町線、国道141号、(主)長野上田線無電柱化事業整備推進への協力	(1) 4月～3月 (2) 4月～3月	(1) 工事L=180m (年度内進捗率 547/720m 76%) (2) 県の事業進捗に協力する。	(1) 新参町線無電柱化工事L=223mを発注し、施工中。 (2) 事業推進に協力し、道路拡幅、無電柱化工事を施工中。		(1) 繰越明許により、引続き工事を施工中。 (2) 事業推進に協力し、道路拡幅、無電柱化工事を施工中。	
④						
⑤						
特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点		○取組による効果・残された課題			

令和4年度 重点目標管理シート







重点目標	緑豊かな健幸都市空間の創出		部局名	都市建設部	優先順位	5位		
総合計画における位置付け	第2編 自然・生活環境 【安全・安心な快適環境のまちづくり】 第2章 良好、快適な生活環境の形成 第4節 緑豊かな魅力ある都市環境の創出		上田再構築プラン Ver.2.0「もっと、前へ」における位置付け	2 教育・子育ての環境・文化の充実を促進する ●安心して結婚・出産・子育てができる上田市をつくるために ●上田城復元的整備、日本遺産活用、サントミュージゼ活用				
第四次上田市行財政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け	(1) 将来を見据えた新たな行政サービスへの改革 イ 多様な主体が市政に参画・協働する制度づくり (2) 健全で持続可能な財政基盤への改革 エ 公共施設マネジメントの推進							
現況・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・都市公園等には経年による老朽化が進む公園施設が見られます。 ・子供たちが公園を安全に安心して利用できるよう、施設の改築・更新と適切な維持管理を行うことが求められています。 ・景観計画や屋外広告物条例の適切な運用に加え、地域資源を生かした景観まちづくりが求められています。 ・人口減少・少子高齢化が進行するなか、花と緑のまちづくりにおける市民や事業者の活動参加、都市緑化への意識を高めていく検討が必要です。 							
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・公園施設長寿命化計画に基づき、都市公園の整備や遊具の改築・更新などを行い、安全・安心な公園を目指します。 ・身近にある公園を整備し、子育て世代が安全・安心に利用できる公園整備を進め、楽しめる公園づくりを目指します。 ・歴史的町並みや文化財などの景観を維持向上させることで、上田らしい魅力ある景観形成が図られます。 ・自治会などへの花苗配布を通して「市民主体の花のあるまちづくり」が促進されます。 			該当するSDGsの目標				
	取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限（いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告（目標に対する進捗状況・進捗度）及び（中間報告の時点で取組項目に対する方法・手段の見直しを行った点）	期末報告（目標に対する達成状況・達成度）			
①	○ 公園施設長寿命化計画に基づく施設の改築・更新事業の推進	(1) 4月～3月	(1) 上田城跡公園他9公園の施設の更新及び公園施設の適正な維持管理	(1) 計画公園の8公園中、5公園（7発注）については10月発注、残りの公園は全体事業費の把握後、11月発注予定。	(1) 計画した9公園（予算の都合上、1公園取りやめ）の施設更新工事を行い、3月末事業完了。 定期的な公園パトロールを行い適切な維持管理を実施した。			
②	○ 子育て支援・身近な公園改築・更新事業の推進	(1) 4月～3月	(1) 中央公園、神川公園の公園施設の改築・更新	(1) 神川公園は10月、中央公園は11月発注予定。	(1) 中央公園、神川公園とも3月末事業完了。			
③	○ 良好で緑豊かな景観形成の推進 (1) 景観まちづくり・歴史まちづくりの推進に向け、歴史的風致維持向上計画の国の認定を受ける (2) 花苗配布により自治会等の花壇づくり活動を支援し、潤いのある花と緑のまちづくりを推進	(1) 4月～3月 (2) 4月～12月	(1) 計画を策定し、国の認定を受ける (2) 花苗の配布 自治会等の団体：春、秋 中心商店街等：春、秋	(1) 法定協議会（4月、8月）、パブリックコメント（9月）など、認定に必要な手続きを予定どおり実施。 (2) 自治会等の地域の団体への花苗(71,500本)配布（6月） 中心商店街への花苗(952本)配布（6月）	(1) 法定協議会（計4回）、パブリックコメント（9月）、議会報告（11月）などの手続きを経て、令和5年2月に国から認定を受けた。 (2) 自治会等の団体への花苗配布：春 71,500本、秋 49,510本 中心商店街への花苗配布：春 952本、秋952本 配布先の潤いあるまちづくりを推進するとともに、花の水やりなど維持管理に対し積極的な地域活動があった。			
④	○ まちなかグリーンインフラの整備推進	(1) 4月～3月	(1) (1) 染屋緑地広場の整備	(1) 10月発注予定。	(1) 工事実施中。植栽の植付時期の都合により、5月末に事業完了予定。			
⑤								
特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点			○取組による効果・残された課題				

令和4年度 重点目標管理シート

重点目標	移住・定住・交流による まちづくりの推進		部局名	市民まちづくり推進部 上田地域自治センター	優先順位	3位
総合計画における位置付け	第6編 文化・交流・連携 文化を育み、交流と連携で風格漂う魅力あるまちづくり 第2章 交流・連携、移住・定住促進による活力ある都市づくり 第1節 上田の魅力発信、選ばれる都市づくり		上田再構築プラン Ver.2.0「もっと、前へ」に おける位置付け	05 人と自然が調和した活力あるまちをつくる		
第四次上田市行財政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け	(2) 健全で持続可能な財政基盤への改革 ア 歳入の確保					
現況・課題	<p>① 出生数の減少とコロナ禍による外国籍市民の流出により人口の減少が進んでいます。発展的に持続する活力あるまちづくりには、人口減少の抑制と流入人口の増加が喫緊の課題です。新しい生活様式の定着による暮らし方や働き方の多様化を活かし、上田市の魅力や移住に関する情報をさらに積極的に発信する必要があります。また、地域の活性化につながる空き家の有効活用による移住定住の促進に向け、空き家バンク制度の推進が必要です。</p> <p>② 人口減少と高齢化の進展は生涯未婚率の増加による出生数の低下も要因となり、活力あるまちづくりを進める担い手が不足していく可能性があります。結婚を希望する方々への支援が必要です。</p> <p>③ 交流人口の増加と財源の確保を目的にふるさと寄附を推進するため、より多くの寄附者の関心を引き付ける必要があります。上田の魅力を広く伝えるパートナー企業と返礼品の充実による地域産業との連携も重要です。</p>					
目的・効果	<p>① 移住相談やセミナーなどは対象者のニーズに合わせてオンライン方式の併用で実施し、世界中の上田市に関心を寄せる方々に向けた情報発信により、人口の社会増を推進します。また、空き家バンク利活用の推進により地域の活性化につなげます。</p> <p>② 婚姻に伴う新生活を開始する際の経済的不安を軽減するとともに、結婚を希望している独身者やその親等の結婚に対する意識の醸成と、相談員向けセミナーの開催により、出会いと結婚を支援します。</p> <p>③ ふるさと寄附のパートナー企業と返礼品の充実により、上田市の魅力を発信し、関係人口の増加と財源の確保を目指すとともに、地場産品の流通促進により地域の活性化を図ります。</p>		該当するSDGsの目標	 11 住み続けられるまちづくりを	 17 パートナーシップで目標を達成しよう	
取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限（いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告（目標に対する進捗状況・進捗度）及び（中間報告の時点で取組項目に対する方法・手段の見直しを行った点）		期末報告（目標に対する達成状況・達成度）	
① ○ 移住定住の推進 (1) 庁内連携による市独自移住セミナーの開催 (2) 定住自立圏による移住関係イベントへの参加 (3) 主要都市部及びオンライン活用による移住相談会の開催 (4) 移住体験ツアーの実施 (5) 地域おこし協力隊員の計画的任用と、定住支援	(1) 年度末まで (2) 年度末まで (3) 年度末まで (4) 年度末まで (5) 年度末まで	(1) テーマ毎に、対面形式・オンライン形式合わせて6回以上開催 (2) 6回以上参加 (3) 30回以上開催 (4) 2回以上 (5) 5名の任用と、1名の任期満了後の定住	(1) オンラインセミナーを5回開催 (2) 現地対面式セミナー、フェアに2回参加 (3) オンライン相談会を10回開催、首都圏での大規模フェアに3回出展 (4) コロナ禍により上半期での開催は無いが、個別の現地案内を2回実施 (5) 隊員4名を任用。今年度任期満了予定者なし。昨年度任期満了者の定住に向けた起業事業承継支援補助金申請を支援		(1) オンラインセミナーを5回、現地対面式を1回開催 (2) 現地対面式セミナーに4回、現地対面式フェアに1回参加 (3) オンライン相談会を16回開催、随時受付のオンライン相談会を3回開催、ふるさと回帰支援C及び銀座NAGANOでの対面式相談会を3回開催、首都圏での大規模フェアに4回出展 (4) 個別の現地案内を4回実施、1泊2日での上田体験ツアーを1回開催 (5) 2回延べ4人分の募集と採用事務を実施し4人を任用した。昨年度任期満了者1名の定住に向けた起業事業承継支援補助金支援完了	
② ○ 空き家バンク利活用の推進 (1) 物件登録の推進 (2) 利用希望者の増による活用の促進	(1) 年度末まで (2) 年度末まで	(1) 物件登録20件以上 (2) 利用者登録110件以上	(1) 空き家バンク物件登録 25件 (2) 利用者登録 86件 上半期成約件数 12件		(1) 空き家バンク物件登録 52件 (2) 利用者登録 166件 成約件数 29件	
③ ○ 市民協働による移住交流の推進 (1) 地域コミュニティと移住者・関係人口の交流を促進 (2) 各地域に所属する地域おこし協力隊員の協働活動の促進による地域交流の推進	(1) 年度末まで (2) 年度末まで	(1) ① 移住者交流会1回以上開催 ② 地域交流アドバイザーを活用した移住支援の検討 ③ オンライン交流サイトの開設と運用 (2) 地域おこし協力隊員協働活動の支援	(1) ① 移住者交流会を12月に開催予定 ② オンライン交流サイトへインタビュー記事を掲載予定 ③ オンライン交流サイト運営業務プロポーザル審査後、委託業者決定 12月運用開始予定 (2) 地域おこし協力隊によるオンライン交流会、オフライン交流会（5月1回、8月1回）への協力		(1) ① 移住者交流会を12月に開催 ② オンライン交流サイト運営業務トークイベントに2回出演 アドバイザーの移住者交流会への参加による支援 ③ オンライン交流サイト運営業務の委託契約をし、12月に運用開始 (2) 地域おこし協力隊によるオンライン交流会、オフライン交流会（5月1回、8月1回）への協力	
④ ○ 縁づくり事業の推進 (1) 結婚につながる縁づくりの推進 (2) 効果的な情報の発信による、結婚に向けた意識の醸成	(1) 年度末まで (2) 年度末まで	(1) 婚活セミナー等4回以上開催、及び定住自立圏での婚活セミナー等1回以上開催 (2) ① 広報紙や市HP、LINE@、その他SNSなどを活用した情報の発信 ② 親向けセミナー、結婚相談員向けセミナーを各1回以上開催	(1) 婚活セミナー等を下半期に開催予定 (2) ① 広報うえだ・市HP掲載、LINE@登録者へ情報発信9回 ② 親向け等セミナーを下半期に開催予定		(1) 婚活セミナー5回、交流会3回、定住自立圏婚活交流会を1回開催。個別によるオンライン相談122件、対面相談1回。 (2) ① 広報うえだ・市HP掲載、LINE@登録者477人へ情報発信15回実施。 ② 親向けセミナー1回、結婚相談員向けセミナーを1回開催。	

	取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限 （いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告 （目標に対する進捗状況・進捗度）及び （中間報告の時点で取組項目に対する方法・手段の見直しを行った点）	期末報告（目標に対する達成状況・達成度）
⑤	<p>○ふるさと納税制度の推進</p> <p>(1) 各ポータルサイトの特色を生かした魅力ある返礼品の開発と、きめ細かな情報の発信</p> <p>(2) 寄附者への訴求力向上に寄与するポータルサイト導入の検討</p>	<p>(1) 年度末まで</p> <p>(2) 年度末まで</p>	<p>(1)</p> <p>① 返礼品30品目以上の増</p> <p>② 返礼品やパートナー企業の情報に加え、関心を寄せてもらう地域情報を発信</p> <p>(2) トップランナー団体の事例研究</p>	<p>(1)</p> <p>① 新規返礼品21品追加</p> <p>② Twitterでの情報発信 177件 記事閲覧数 47万回 プロフィール閲覧数49千回 増加フォロワー120件（総フォロワー423）</p> <p>(2) 他市町村の事例研究、寄附受納増加を見込める新設ポータルサイトの情報収集を実施。</p>	<p>(1)</p> <p>① 新規返礼品73品追加</p> <p>② Twitterでの情報発信 315件 記事閲覧数 66万回 増加フォロワー180件（総フォロワー483）</p> <p>(2) 新たなチャンネルとして、11月から「セゾンのふるさと納税」を追加、市場ニーズを見据え、寄附受納増加を狙い「ふるなびトラベル」「楽天トラベル」を導入。</p>
特記事項	<p>○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点</p> <p>① テーマ毎にターゲットを絞り、地域からの中継やイベント等の紹介や移住経験のある定住者による発信なども交えたより関心の高まるセミナーを計画し、上田市の魅力を発信します。</p> <p>② 市民目線による上田市の魅力配信など市民協働による取り組みを促進し、交流を具現化することで移住者・関係人口の増を図るとともに、市民生活の中に移住者や関係人口を積極的に受け入れる機運を醸成します。</p> <p>③ より多くの寄附者の関心を得るため間口を広げるポータルサイトを研究し、地場産業の活性化に繋がる魅力的な返礼品の開発に努めます。</p>			<p>○取組による効果・残された課題</p> <p>①ターゲットを絞ったテーマでイベント中継やセミナーを実施できた。中でも独身女性限定の移住体験ツアーは、今後の結婚支援とも結びつく効果があると考えている。</p> <p>②市民協働による情報発信・交流委託事業として開始した「うえだ移住テラス」は、大勢の市民の参加により受け入れる側の移住促進について機運の情勢につながると考えられる。今後はさらにユーザー数を伸ばし、より多くに参加者の増加に努める必要がある。</p> <p>③自主財源の確保として有効なふるさと寄付金の増加のため、全庁を挙げて注力していく必要がある。</p>	




令和4年度 重点目標管理シート

重点目標	市営住宅の環境整備と民間連携による空き家の有効活用の推進		部局名	生活環境部	優先順位	5位			
総合計画における位置付け	第2編 安全・安心な快適環境のまちづくり 第2章 良好、快適な生活環境の形成 第3節 安全安心に暮らせる環境の整備		上田再構築プラン Ver.2.0「もっと、前へ」における位置付け	・福祉を充実し、多様性を尊重した地域共生社会を実現する。 ・日本を代表する循環型社会をつくる					
第四次上田市行財政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け	(1) 将来を見据えた新たな行政サービスへの改革 イ 多様な主体が市政に参画・協働する制度づくり								
現況・課題	市営住宅の老朽化が進んでいるため、「上田市市営住宅等長寿命化計画」に沿った整備を推進する必要がある。市民サービスの向上及び上田市市営住宅等長寿命化計画を推進するため、維持管理業務等の効率化を図る必要がある。市営住宅への入居を希望する者が連帯保証人が見つからずに入居できない事案がある。利活用可能な空き家が増加傾向にある。								
目的・効果	上田市市営住宅等長寿命化計画に沿った計画的な住環境整備を進め、住宅ストックの適切なマネジメントを図る。維持管理業務等を民間委託し、市民サービスの向上及び上田市市営住宅等長寿命化計画の推進を図る。連帯保証人に関する要件の見直しを行い、市営住宅当選者の住生活及び経済的な安定を図る。空き家増加に歯止めをかけるため、空き家セカンドユース事業により利活用可能な空き家の有効活用を図る。		該当するSDGsの目標						
取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限（いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告（目標に対する進捗状況・進捗度）及び（中間報告の時点で取組項目に対する方法・手段の見直しを行った点）		期末報告（目標に対する達成状況・達成度）				
① ○ 上田市市営住宅等長寿命化計画に沿った住環境整備 (1) 耐久性及び安全性の向上を目的とした長寿命化型・安全確保型改善事業の推進 (2) 安心・安全な住まいの確保を目的とした建替事業の推進	(1) 年度内 (2) 年度内	(1) 屋根及び外壁改修（千曲町団地1棟） (2) 緑が丘団地地元調整	(1) 8/17に工事契約を締結し、年内に完了する予定 (2) 7/26の西部地域市政懇談会で、緑が丘西、北団地の旧産婦人科病院跡地への移転建替の白紙撤回を表明し、8/4に入居者への説明を実施		(1) 千曲町団地1棟12戸 契約額16,984千円 5棟終了/全12棟 工期R4.8.17-4.12.15 竣工日R4.12.14 事業はR6まで (2) 国土交通省の事業を活用し、別の市営住宅における建替の検討を開始 <参考>R4.6.9「公営住宅に係るPPP/PFI導入推進事業」採択済 上田原第一・第二団地 ⇒ 1団地に統合				
② ○ 市営住宅の管理代行制度（委託）導入に向けた協議	・年度内	・委託業務内容の合意形成	・9月議会において条例改正を行い、令和5年度から管理代行制度を導入		・令和5年度から長野県住宅供給公社への管理代行へ移行 相手方 長野県住宅供給公社（随意契約） 期間 R5.4.1-R6.3.31 債務負担行為 当初3年間、以降5年間 主な業務の範囲 家賃等収納業務、滞納家賃の催告及び収納事務、高額所得者、長期滞納者等明渡業務、入居者相談、収入調査業務、退去関係業務、修繕業務、設備の保守点検業務等 R5委託費 104,461,000円（税込）<予定額>				
③ ○ 市営住宅入居要件の緩和	・年度内	・連帯保証人がいないことによる当選辞退者ゼロ	・9月議会において条例改正を行い、令和5年度から連帯保証人を2人から1人とする入居要件の緩和を実施		・令和5年度から入居要件の緩和を実施 <主な内容> 1 連帯保証人を2名から1名へ変更 2 特別な事情があれば連帯保証人を免除 3 単身世帯の入居を可能に変更 4 市長が認めれば市税の滞納があっても入居可能				
④ ○ 利活用可能な空き家の有効活用（セカンドユース事業） (1) 宅建協会との協働して空き家物件の調査及び空き家所有者への交渉	(1) 年度内	(1) セカンドユース事業成約 3件	(1) 宅建協会と協働し、物件の現地調査を行っているが、物件の状態や所有者の意向もあり、成約には至っていない。		(1) 年度内に成約には至らなかったが、令和5年度2件の成約見込み（住吉・緑が丘で1件ずつ）				
特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点		○取組による効果・残された課題						


令和4年度 重点目標管理シート

重点目標	人と環境に優しい安全・安心なまちづくりの推進		部局名	丸子地域自治センター	優先順位	1位		
総合計画における位置付け	第2編 自然・生活環境 第1章 豊かな環境を未来につなぐ 第2節 循環型社会形成の推進		上田再構築プラン Ver.2.0「もっと、前へ」における位置付け	DXやGX等の革新的技術でSDGsを推進、人と自然が調和した活力あるまちをつくる				
第四次上田市行財政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け	(1) 将来を見据えた新たな行政サービスへの改革 (2) 健全で持続可能な財政基盤への改革 ウ市有財産の適切な管理と利活用							
現況・課題	交通量の多い通学路の歩道整備や安全確保に向けた道路整備と合わせ国庫補助事業の制度に基づき、地域の貴重な観光資源である千曲川等の河川を活用した魅力創出のための河川空間の整備事業、治水対策を目的とした河川整備事業による安全・安心なまちづくりを推進する必要があります。また公共交通については、交通弱者に対し利便性の向上や持続可能な交通システムの構築が望まれています。循環型社会形成が求められる中において、家庭や事業所における環境負荷低減に向けた取り組みとして、ごみの発生抑制・再使用を優先したライフスタイルへの転換をはじめとし、プラスチックごみ等の適正な分別による再資源化の推進など、ごみの減量・再資源化が大きな課題となっています。							
目的・効果	道路や歩道、河川の整備により、歩行者の安全確保や内水対策と水辺環境整備の充実が図られます。また地域に適した持続可能な公共交通システムの構築により利便性と安心・安全で住みやすいまちづくりにつながります。「第二次上田市総合計画（後期まちづくり計画）第2編 自然・生活環境 安全安心な快適環境のまちづくり」に掲げる施策等を推進し、持続的な発展が可能となる循環型社会形成が具現化されます。		該当するSDGsの目標					
	取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限（いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告（目標に対する進捗状況・進捗度）及び（中間報告の時点で取組項目に対する方法・手段の見直しを行った点）	期末報告（目標に対する達成状況・達成度）			
①	【千曲川・依田川合流地点の河川環境整備】 (1) かわまちづくり事業 設備工事ほか	(1) 9月	(1) 工事発注及び民間事業者からの意見聴取	(1) 設備工事ほか発注準備中（発注10月初旬入札） サウンディング型市場調査実施（10月公表予定）	(1) 工事实施中 サウンディング型市場調査実施（3月29日公表）			
②	【安全性・利便性向上のための道路整備】 (1) [都市再編事業]箱置線道路改良事業 (2) [都市再編事業]上丸子石井線道路改良事業 (3) [公安]金井線道路改良事業	(1) 3月 12月末 (2) 12月末 9月 9月 (3) 3月	(1) 用地買収 4件・補償 5件 工事発注 L=180m (2) 工事完成 バスシェルター発注 案内看板委託発注 (3) 用地 2件・補償 1件	(1) 用地2件、補償2件交渉中 工事発注の協議中 (2) 工事施工中 バスシェルター工事施工中 業務委託発注の協議中 (3) 用地・補償対象者と交渉中	(1) 用地2件、補償2件契約締結 工事实施中 (2) 工事完了 バスシェルター完了 業務委託発注は、令和5年度へ変更 (3) 用地・補償の契約締結			
③	【地域公共交通の利便性向上に向けた取り組み】 (1) 丸子・武石地区 公共交通再編検討（循環バス：まりんこ号）	(1) 3月	(1) 運行システムを検討・推進し、令和5年度からの実証運行に向け準備・調整	(1) 令和5年度中のデマンド交通化に向け準備、調整中	(1) 令和5年10月からのデマンド交通化に向け準備、調整中（令和5年度予算化）			
④	【上田圏域と松本圏域の主要幹線道路等の整備促進】 （長野県実施事業） (1) 国道254号（虚空蔵工区・反り工区・平井）バイパス (2) 荻窪丸子線（下和子バスレーン設置） (3) 丸子信州新線	(1) 4月～3月 (2) 10月 (3) 4月～3月	(1) 虚空蔵（反り）工区一詳細設計発注 平井工区一3件用地買収 (2) 工事発注 (3) 地権者説明会及び地形測量発注	(1) 虚空蔵（反り）工区一詳細設計発注準備中 平井工区一2件用地買収済 (2) 工事発注（11月入札） (3) 測量・設計実施中	(1) 虚空蔵（反り）工区一詳細設計実施 平井工区一用地買収完了 (2) 工事实施中 (3) 測量・設計完了			
⑤	【資源循環型社会構築に向けた再資源化等の促進】 (1) ごみ分別の徹底と生ごみ減量化施策の啓発 (2) 容器リサイクル法に基づくプラごみの適正分別の周知	(1) 4月～3月 (2) 4月～3月	(1) ごみ出しカレンダー等による周知 (2) プラごみの未回収件数対前年度比5%削減	(1) 適正なごみの分別について等の広報 丸子地域ゴミの出し方カレンダー全戸配布 (2) プラごみ未回収件数 9月末現在 393件 前年度297件（前年同期比32%増） 悪質なごみ集積所に警告等掲示看板設置（12箇所）				
特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点			○取組による効果・残された課題				

令和4年度 重点目標管理シート

重点目標	防災・減災対策の推進とインフラ施設の適切な管理		部局名	真田地域自治センター	優先順位	3位	
総合計画における位置付け	第2編 自然・生活環境 安心・安全な快適環境のまちづくり 第2章 良好、快適な生活環境の形成 第3節 安全・安心に暮らせる環境の整備		上田再構築プラン Ver.2.0「もっと、前へ」における位置付け	5 人と自然が調和した活力あるまちをつくる			
第四次上田市行財政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け (2) 健全で持続可能な財政基盤への改革 エ 公共施設マネジメントの推進							
現況・課題	市道の老朽化の進行により、更新や修繕を必要とする橋梁、舗装が増加しており、将来老朽化した橋梁等の更新時期が集中し、財政的な負担が増大することで、適切な維持管理が困難になることが懸念されます。また、近年は短時間の集中豪雨により、準用河川や幹線的な農業用水路の越水による浸水被害が多発しており、防災・減災の観点から、その対策が急務となっています。						
目的・効果	このような状況のなか、橋梁やトンネル等の道路施設について義務付けられた5年に1度の定期点検を踏まえ、予防保全・早期措置型への維持管理対策に転換し、計画的かつ効率的にインフラ施設の長寿命化を図っていきます。国土強靱化地域計画に基づき、災害に強いまちづくりを推進し、地域住民の安全・安心な暮らしを実現します。			該当するSDGsの目標			
	取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限（いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告（目標に対する進捗状況・進捗度）及び（中間報告の時点で取組項目に対する方法・手段の見直しを行った点）		期末報告（目標に対する達成状況・達成度）	
①	○ 道路・橋梁の長寿命化事業の推進 (1) 橋梁長寿命化工事の実施 (2) 道路舗装修繕工事の実施	(1) 4月～3月 (2) 4月～3月	(1) 工事 2箇所 (Ⅲ判定橋梁 進捗率 5/6) ・ 角間1号橋 ・ 角間2号橋 (2) 工事 2箇所 ・ 荒井中原線 ・ 横沢角間線	(1) 工事1箇所発注済、1件入札準備中 (Ⅲ判定橋梁 進捗率 5/6) ・ 角間1号橋発注済 ・ 角間2号橋入札準備中 (2) 工事 2箇所発注済 ・ 荒井中原線発注済 ・ 横沢角間線発注済		(1) 工事1箇所完了、1件発注済 (Ⅲ判定橋梁 進捗率 5/6) ・ 角間1号橋完了 ・ 角間2号橋発注済 (2) 工事 2箇所完了 ・ 荒井中原線完了 ・ 横沢角間線完了	
②	○ 農業用水路等の長寿命化・防災減災対策 (1) 農業用水路の長寿命化修繕工事の実施	(1) 4月～3月	(1) 工事 2箇所 ・ 窪堰 L=320m (進捗率 320/540m 59%)	(1) 工事1箇所発注済、1箇所入札準備中 ・ 窪堰1地区(L=44m) 発注済 ・ 窪堰2地区(L=275m) 入札準備中		(1) 工事1箇所完了、1箇所発注済 ・ 窪堰1地区(L=44m) 完了 ・ 窪堰2地区(L=275m) 発注済	
③	○ 準用河川の防災減災対策 (1) 大沢川整備計画の立案	(1) 4月～3月	(1) 未整備箇所の把握 整備手法の検討	(1) 未整備箇所の把握 整備手法の検討、計画作成業務委託発注準備中		(1) 未整備箇所の把握 整備手法の検討、計画作成業務委託発注済	
④	○ インフラ施設の適切な維持管理 (1) 道路・河川の定期的なパトロールの実施	(1) 4月～3月 6月、11月	(1) 道路パトロール 週2回以上 河川パトロール 年2回	(1) 通行支障箇所の把握及び解消のため、延べ78回（週2～3回）の道路パトロールを実施（9月末）した。併せて、普通河川の現状確認（6月）を行った。引き続き、道路・河川のパトロールを実施し、適切な維持管理に努める。		(1) 年間160回（週2～3回）、走行距離約8,000kmの道路パトロールを実施し、通行支障箇所の早期確認と応急対応を行った。併せて、準用・普通河川の現状確認（6月、11月）を実施し適切な維持管理に努めた。	
特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点			○取組による効果・残された課題			

令和4年度 重点目標管理シート

重点目標	多彩な地域資源を生かした観光の振興、活力ある農業の推進及び道路交通環境の整備		部局名	武石地域自治センター	優先順位	3 位
総合計画における位置付け	第3編 誰もがいきいき働き産業が育つまちづくり 第1章 次代へつなぐ農林水産業の振興 第2節 農林業の安定的な生産体制の整備と産地化の推進 第3章 魅力ある観光地づくり 第1節 おもてなしで迎える観光の振興	上田再構築プラン Ver.2.0「もっと、前へ」における位置付け	5 DXやGX等の革新的技術でSDGsを推進、人と自然が調和した活力あるまちをつくる			
第四次上田市行財政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け	(2) 健全で持続可能な財政基盤への改革 エ 公共マネジメントの推進 オ 収益と負担のあり方の見直し					
現況・課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 観光施設等の管理、運営については、今後も公共施設マネジメントの取組が必要です。 ○ 武石番所ヶ原スキー場レストハウスは耐震性が不足し狭小のため、安全の確保と利便性を向上させる必要があります。 ○ 県営中山間総合整備事業の推進については、地域の老朽化した農業生産基盤施設の改修や営農の効率化を図るため、計画的に進めることが必要です。 ○ 実質化された「人・農地プラン」の実行については、農地の利用調整やマッチング等プランの推進に向け、積極的に取り組むことが重要です。 ○ 地域おこし協力隊による地域の活性化等に向けた取組を推進するため、隊員と行政、地域とが連携し、円滑に活動できるよう支援が必要です。 ○ 地域内人口の減少、高齢化により地域の魅力が低下しており、様々な課題が顕在化しています。 ○ 地域の魅力を軸にした様々な展開により、交流人口の拡大や賑わいの創出、地域の活性化等を図る取り組みを進めていく必要があります。 					
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ○ 観光施設等の管理、運営については、時代の変化に対応させつつ有効に活用することで、必要なサービスの提供を将来にわたり継続していくことを目的とします。 ○ 武石番所ヶ原スキー場整備は、利用者数に対応できるレストハウスの規模に増築と耐震補強することで、利便性と安全性の向上を図ります。 ○ 県営中山間総合整備事業については、地域の老朽化した農業生産基盤施設の改修等を計画的に整備推進することで、効率的な営農環境の確保を図ります。 ○ 地域おこし協力隊の活動支援は、任用された隊員が行政職員や地域住民とは異なる新しい視点、自由な発想や行動力により、観光・農業用既存施設の利活用をはじめ将来的な起業・創業を視野に入れた活動を展開することで、新たな魅力の発掘や賑わいの創出に期待ができません。 		該当するSDGsの目標	  		
取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限（いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告（目標に対する進捗状況・進捗度）及び（中間報告の時点で取組項目に対する方法・手段の見直しを行った点）	期末報告（目標に対する達成状況・達成度）		
① ○ 観光施設等の管理、運営あり方の検討等 (1) 岳の湯温泉雲渓荘、武石番所ヶ原スキー場、武石温泉うつくしの湯、巢栗渓谷緑の広場 (2) 巢栗渓谷緑の広場においてトライアル・サウンディングを実施	(1) 5月～ 3月 (2) 4月～ 3月	(1) 検討会等 5回以上 指定管理者との意見交換 2回以上 (2) 実施結果を踏まえ、年度内に活用方針等を取りまとめ	(1) 5月31日、8月29日に庁内検討会を実施し、地域協議会からの意見書に対する回答書の検討を行った。 (2) 空中テント2張、チャレンジライン1基設置	(1) 庁内検討会を2回、指定管理者と意見交換会を3回実施し、観光施設等の管理、運営のあり方検討を行った。雲渓荘は、地域協議会に温泉施設在り方検討部会を設立し、検討を始めた。 (2) 7月から10月まで4か月間実施。施設の魅力再発見や効果的な利活用方法、課題の把握ができた。		
② ○ 道の駅美ヶ原高原駐車場整備の推進 (1) 排水路工事等	(1) 4月～ 3月	(1) 年度内完了	(1) 令和3年度繰越事業は、11月末に完了予定。 令和4年度実施事業は、財源調整のため未着手。	(1) 辺地債による財源調整や、関係機関との調整に不測の日数を要したため、工期が十分に取れず、事業の年度内完了が困難となり、翌年度へ事業を繰越した		
③ ○ 巢栗渓谷整備事業の推進 (1) 遊歩道、橋の改修等	(1) 4月～ 3月	(1) 年度内完了	(1) 令和3年度繰越事業は、10月末に完成見込 令和4年度実施事業は、施工箇所調整のため未着手。	(1) 辺地債による財源調整や、関係機関との調整に不測の日数を要したため、工期が十分に取れず、一部の事業の年度内完了が困難となり、翌年度へ事業を繰越した		
④ ○ 県営中山間総合整備事業（美の郷地区）の推進（H29から継続事業） (1) 実施個所である地元との調整及び協議、説明会	(1) 4月～ 3月	(1) 2工区 3回以上	(1) 今年度工事を実施している築地原堰工区において地元推進委員会と5月から7月にかけて4回の会議を行い、予定通りに進捗している。	(1) 地元組織である下原（築地原堰）水路改修事業実行委員会との協議を重ね、水路改修工事は12月に完了し、地元負担金の納入も3月中に完了した。		
⑤ ○ 実質化された人・農地プランの実行 (1) プラン実行に向けた地域懇談会の開催 (2) 人・農地プランの見直し	(1) 4月～ 3月	(1) 関係者等との懇談 2回以上 (2) 実行をふまえ見直し等を検討	(1) 市の農政担当者会議において今年度の取組について協議、あわせて国のWeb説明会に2回参加、情報共有及び今後の進め方について確認。 (2) 地域懇談会及び意見交換会については、今後開催を予定。	(1) (2) 人・農地プランが、法の一部改正により「地域計画」への移行に伴い、懇談会（農業委員会での意見交換会）を2回実施		
⑥ ○ 地域おこし協力隊の活動支援 (1) 観光資源、既存施設の利活用推進・拡大に向けた活動に関わる支援	(1) 4月～ 3月	(1) 地域活性化イベントの開催支援、既存施設の利活用	(1) 地域団体との協働による地域振興に関する取組、既存施設の利活用に向けた業務の支援を行った。	(1) 取組活動の報告と今後の活動計画について定期的に打合せを実施		

	取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限 （いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告 （目標に対する進捗状況・進捗度）及び （中間報告の時点で取組項目に対する方法・手段の見直しを行った点）	期末報告（目標に対する達成状況・達成度）
⑦	○ 災害復旧事業及び防災事業の推進 (1) 施設災害復旧事業の推進 (2) 急傾斜地、砂防事業の推進	(1) 4月～ 3月	(1) 既発注災害工事年度内完了 (2) 防災・砂防など県事業への協力	(1) 東日本台風災害及び令和3年8月豪雨災害に伴う復旧工事は、年度内完了に向け予定通りに進捗しており、工事未了箇所は農業施設2箇所となった。（農地農業施設災4箇所、土木施設災5箇所完了） (2) 長野県施工の砂防関連事業についても予定通りに進捗している。（砂）内の山沢、（急）上小寺尾、（砂）番所ヶ原、（維）番所ヶ原2工区	(1) 農地農業用施設災害6箇所、土木施設災害5箇所すべて完了 (2) 地元調整により予定通り進捗している。
特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点 ・ 雲溪荘の利用促進を図るために使って残す活動を市民協働で取り組むほか、武石地域の魅力発信により利用者の増加を図ります。 ・ 武石番ヶ原スキー場整備事業の推進は、施設を整備することで利用者の利便性と安全性の向上を図ります。 ・ 令和元年及び令和3年の災害被災箇所の復旧事業を推進し、施設の機能回復を図ります。			○取組による効果・残された課題	